

製品名: ABCA13 ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab06392**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	ICC/IF,ELISA
反応性	ヒト、ラット、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率 ICC/IF 1:200-1:1000,ELISA 1:20000-1:40000

分子量

抗原情報

遺伝子名	ABCA13
別名	ABCA13; ATP-binding cassette sub-family A member 13
遺伝子 ID	154664.0
SwissProt ID	Q86UQ4
免疫原	抗血清はヒト ABCA13 由来の合成ペプチドに対して産生された。アミノ酸範囲: 2251-2300

背景

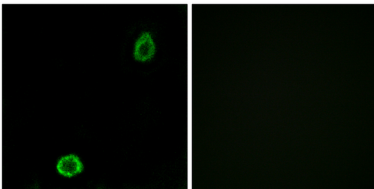
ヒトにおいて、膜貫通型トランスポーターの ATP 結合カセット (ABC) ファミリーには、少なくとも 48 個の遺伝子と 7 つの遺伝子サブファミリーが存在します。この遺伝子は ABC 遺伝子サブファミリー A (ABCA) に属します。ABCA ファミリーの遺伝子は通常、

数千個のアミノ酸をコードします。他の ABC 膜貫通型トランスポータータンパク質と同様に、このタンパク質は 12 個以上の膜貫通 α ヘリックスドメインを有し、これらのドメインは複数の基質結合部位を持つ単一の中央チャンバーを形成するように配列していると考えられます。また、ABCA タンパク質に典型的な 2 つの大きな細胞外ドメインと 2 つのヌクレオチド結合ドメインを有することが予測されます。選択的スプライスバリエントが記載されているが、その生物学的妥当性は実証されていない。[RefSeq 提供、2009 年 3 月]、配列注意: グルタミン酸として翻訳されています。、類似性: ABC トランスポーターファミリーに属します。、類似性: 2 つの ABC トランスポータードメインを含みます。、組織特異性: 精巣、骨髄、気管で発現します。、

研究分野

ABC トランスポーター;

画像データ



ABCA13 抗体を用いた A549 細胞の免疫蛍光染色。右の写真は合成ペプチドでブロックした画像です。